

# 卒業文集

钱艳洋

私は钱艳洋と申します。2020年に北海道大学大学院観光創造研究コースと立教大学観光学研究科の両方に合格しました。以下は私からの進学のアドバイスです。

来日する前に私は日本語能力試験N2レベルを受験し、91点を取りました。合格したものの、N2レベルほどの日本語能力を身につけていませんでした。N2に合格して1年を経て私は来日しました。最初の頃、私の日本語会話力が悪く、授業中先生が使う言葉も理解できませんでした。自分の日本語の基礎が弱いことを自覚し、単語と文法の勉強に取り組みました。努力を重ねた結果、少しずつ前進が見られました。

2019年の7月に入り、英語と専門知識の勉強を始めないと来年春学期での進学が難しいことに気づきました。個人的なアドバイスですが、英語のピックアップを早めに行った方が良いです。正直、7月になって英語の勉強を始めるのが少し遅れた感がありました。なぜなら、私の場合は英語の勉強と同時に専門知識の勉強もしなければならなかったからです。

進学の準備を始める前に、私は目標を明確にすることを決めていました。私が専門知識の勉強を始めるのは比較的遅かったのですが、来日して間もない頃にすでに目標を決めていました。私は大学で観光マネジメントを専攻し、日本に来て大学を専攻を続けたいので、進学先を北海道大学と立教大学に絞りました。この目標を立てた頃、自分の目標があまりにも高過ぎないかの心配もありました。もともと観光専攻を設けている大学はそれほど多くはなく、この2校のレベルも高かったからです。しかし、せっかく日本に留学しに来たため、チャレンジすべきだと思いました。

専門知識の勉強もなるべく早めに準備にかかった方が良いでしょう。研究計画書に関しては、研究対象を明確にすることが何よりも重要です。ポイントは3つあります。第一、研究の価値があることです。第二、教授が面白そうと思ってくれそうな研究、そして、第三、自分にも興味がある研究、の3つです。一と二は客観的な要素で、三は主観的な要素となります。個人的に、第三のポイントが最重要だと考えます。なぜなら、何しろ研究の対象が大学院での勉学の全てだからです。ただ、一と二は前提としてクリアしなければならない最低条件となるため、以上の順番となっていました。

筆記試験についてですが、北海道大学の試験は観光に関する背景資料をもとに1600字~2000字の小論文を書くものです。北海道大学の公式HPにて過去の問題のリンクがあるので、ダウンロードして練習に活用してください。立教大学の公式HPでは過去問題の公開がされていませんが、オープンキャンパスの説明会に参加するだけで前年度の試験問題がもらえます。また、立教大学の入学試験を受験するにあたって、以下の3冊がおすすめです。観光学キーワード、観光学辞典、観光学入門の3冊です。立教大学の筆記試験で行われる観光学専門用語の説明の出題範囲は上記3冊からだそうです。個人的に新現代観光学総論もおすすめです。

次に面接についての説明です。面接のメインは研究計画書をめぐる質問になります。北海道大学と立教大学の面接は20~30分程度です。北海道大学は一日目が筆記試験で、二日目が面接です。面接の試験官は4名の教授からなります。最初の7分間は事前に用意したものについての発表タイムです。筆記試験、面接と英語の成績の総得点順位の高い者が合格となります。筆記試験満点100点、面接150点、英語の換算点数満点50点という配分になります。英語点数の換算の仕方はTOEFLもしくはTOEICの点数を満点の点数で割って50を掛けるというやり方です。そのため、筆記試験の成績が良くないからといって早々あきらめてはなりません。面接点数の配分が多いため、総得点上位に入れれば挽回できる可能性は十分にあります。立教大学は午前中に筆記試験を行い、午後3時頃に筆記試験に合格した者のリストが公表されます。午後3時半頃から面接試験が始まります。私が受験した時、出願したのが約20名で、筆記試験を通過したのが6人、最終的に合格したのは4人でした。面接官は8名の教授からなります。出願時、志望の指導教授を願書に記入しなければなりません。志望教授は8人の面接官のうち一人です。面接の際、研究計画書の内容をきちんと把握しておくことがとても重要です。

私の進学の経験をまとめてみると以下のようなものです。まず、目標を立てることです。次に、試験内容を把握し、出題範囲内の内容をしっかりと勉強することです。進学は一筋縄ではいきません。常に自分のことを応援することも大切でしょう。試験前の準備時間が足りず、試験時の不安と緊張、試験後結果発表を待つときのドキドキする気持ち、これらの状況は全ての受験生に当てはまります。気分が落ち込んでしまったりすることもあるでしょう。そういう時は先生や友だちに相談した方が良いでしょう。マイナスの情緒に長く影響されないことが

大切だと思います。最後まで踏ん張る者が勝利を手にします。努力をすればするほど人は幸運に恵まれます。

最後に、亜細亜友之会外語学院の先生方、私を励まし続けてきた友だちと家族に感謝申し上げます。本当にありがとうございました！

亜細亜友之会外語学院